こんぶくろ池通

NPO 法人こんぶくろ池自然の森

Tel: 04-7132-8800 Fax: 04-7132-8806

Email: info@konbukuroike.com

URL: http://www.konbukuroike.com

2022年6月

第98号

主な予定

(園内ガイド)

增尾西小学校

6月1日(水)

松葉第一小学校

6月3日(金)

土小学校

6月9日(木)

柏第六小学校

6月10日(金)

生涯大学歩こう会

6月11日(土)

柏第五小学校

6月17日(金)

柏第三小学校

6月29日(水)

こん虫展@UDCK

5月20日(金)~22日(日)に柏の葉アー バンデザインセンターとの共催により、柏の葉 キャンパス駅前の UDCK にて「こん虫展」を開 催しました。こん虫展の「こん」には、こんぶ くろの「こん」をかけています!会場では、こ んぶくろ池自然博物公園で2018年、2019年に 実施した千葉県昆虫談話会による昆虫相調査で 採集され、当 NPO へ寄贈を受けた昆虫標本を展 示しました。最終日の 22 日には、千葉県昆虫談 話会の斉藤修氏を講師に迎えて特別講演を開 催。来場者アンケートの回答数は3日間で232 人。UDCK の立地の良さもあり、多くの方にご 来場いただきました。



上田 真佐江

会場入り口

千葉県昆虫談話会による、こんぶくろ池自然博物公園の昆虫相調査

この調査は、当 NPO が千葉県昆虫談話会に調査を依頼し、2018 年、2019年の2年間、こんぶくろ池自然博物公園全域において実施 されました。

千葉県昆虫談話会

各所からの依頼を含め、千葉県内で昆虫相調査を行ってきた団体で す。

調査回数と参加人数

日中調査: 2018年27回、2019年24回、延べ人数; 2018年72 名、2019年60名

夜間調査:2018年12回、2019年13回、延べ人数;2018年50 名、2019年46名

結果概要

15 目 250 科 1,786 種が確認されました。千葉県レッドリストで保 護対象とされる 410 種のおよそ 1 割に当たる 39 種が確認され、ま た、都市公園など孤立した環境との共通種がいることも示されまし た。国内初記録種も2種見つかっています。

※調査の詳細は、千葉県昆虫談話会会誌「房総の昆虫」22019. No.64 と、2020. No.67 に掲載。



調査方法の紹介と、調査用具などの展示



千葉県昆虫談話会から寄贈された8箱の標本箱(計1016頭)

千葉県昆虫談話会から NPO 法人こんぶくろ池自然の森へ 昆虫標本 寄贈

千葉県昆虫談話会のご厚意により、同定(分類上の所属を決めること)作業のために採集された昆虫標本から 11 目 127 科 556 種 1016 頭(予備含め 1172 頭)が 8 箱(予備含め 10 箱)の標本箱に納められ、2022 年 4 月に NPO 法人こんぶくろ池自然の森へ寄贈されました。こん虫展では、寄贈された 8 箱を全て展示。それぞれの標本には、小学生にも読めるようなラベルが付けられています。来場者の方々も、昆虫の名前を読み、その昆虫が何のなかまかを確認しておられました。



特別講演 こんぶくろ池自然博物公園からみえる蛾の世界 講師: 千葉県昆虫談話会 斉藤修氏

応募者から抽選で選ばれた参加者は21名。講演では、まず、蛾という虫について、次に、こんぶくろ池自然博物公園の蛾相の特徴についてのお話がありました。日本だけでも6500種以上の蛾がおり、今回の調査で確認された蛾は554種類。そのうち2種は、日本初記録種です。当公園では、ハンノキに依存している種類が繁栄しており、また、都市公園など孤立した環境との共通種が複数いるとのことでした。

ハンノキは、水辺を好む植物で、こんぶくろ池やその水路周辺だけでなく、一号近隣公園にあるふじ池周辺にもたくさん生育しています。水辺環境があるからハンノキが多く、ハンノキが多くあるからそれに依存する蛾が繁栄する…。水が豊かなこんぶくろの生態系の一端が、蛾の調査結果から垣間見えるようです。蛾は種数が多いので、蛾相からは様々な世界がみえてくるのでしょうか。姿かたち、生態、食べるものも多種多様な蛾の世界に魅了された90分でした。

斉藤修様には、昆虫相調査へのご尽力だけでなく、楽しい講演をしてくださったことに感謝申し上げます。

大人から子供まで、幅広い年齢層の来場者に楽しんでいただいたこ ん虫展



生きている昆虫を展示したコーナー



顕微鏡で、昆虫、翅などを観察できるコーナー



樹液に集まる昆虫たち カブトムシが飛ぶリアルな 標本も人気を集めました (標本制作:徳永さと子)

昆虫標本の前では、「こんな面白い模様の蛾がいるんだ!」「あの公園に、これだけのいろんな虫がいるんだ!」「からだはとても小さいのに大きな鎌がついている。」…スマートシティにある森が、こんなにも生物多様性が豊かなことへの驚きの声や、来場者の方々それぞれ異なる視点からの様々な気づきの声が聞かれました。

また、一角に設けた、生きている虫(ナナフシモドキ、ナミアゲハの幼虫、コクワガタ、マダラアシゾウムシ、ギンヤンマ)のコーナーと、顕微鏡のコーナーには、途切れなく子供たちの姿が見られました。

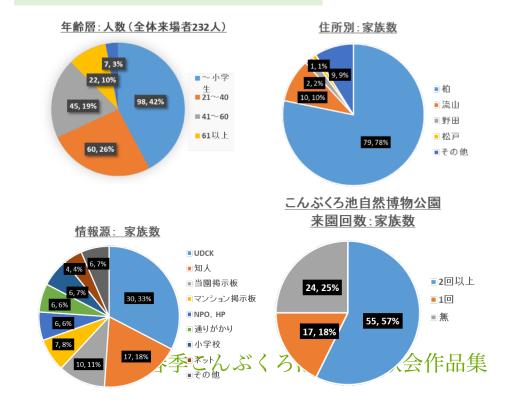
樹液に集まった昆虫たちの標本は、NPO 会員の徳永 さん制作。カブトムシが飛ぶリアルな姿も、人々の関 心を集めました。

「こん虫展」の会場となった UDCK は、つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅前にあり、高層マンションが立ち並ぶスマートシティの街づくりの拠点。会場の好立地にも助けられ、アンケート回答数は3日間で232人。実際の来場者数はそれ以上だったと考えられます。アンケートの結果では、近隣からの若い親子連れの来場者が多かったことがわかりました。

【予告】

今回展示した昆虫標本を 8月13日(土)~14日(日)の2日間 柏の葉 T-SITE に展示します!

来場者アンケートの結果



世話人 松田 和生

俳句の部

「こんぶくろ」にズミ咲き園路浅緑 $S \cdot K$ 見上げれば辛夷眩しや青い空 $S \cdot K$ 春の野を詩(うた)を探してさまよいぬ 権兵衛 ウグイスの歌声響く緑蔭に 中川望 春池やかるがも夫婦がわれに言う 昇多 苔木道カスガイ抜かれ役目終え 征 梵鐘にこうべを垂れる青もみじ 秀夫 朴葉巻き木曽路の初夏の風物詩 米山要 五月晴れ一期一会の橋渡し 米山要 オオタカの過ぎ(杉)ゆく森に夏来たり やまおか 懐かしや楽の音青葉にこんぶくろ 吉清 病みつつも光陰ふたたび花の下 吉清 ボーリング機器に負けじと雲雀鳴く わらしべ

短歌の部

<u>ギリギリに痩せて細った三日月も</u>

池に映せば名画のごとし イチケンサンバ

朝もやのオークの森で見つめ合う

スジオチバタケとワタシとバッタ かわもこ

雨上がり君が待ちたる気配して

走り出したる朝靄の森 かわもこ

燦燦と降り注ぐ愛に身を委ね

すくすく育て世界の平和 中川望

こどもの日こいのぼりたちどこに居る

ステイホームをしているのかな 中川望

蒼鷹が空にゆったり輪を描いたそこから見えるかユアマイホーム

ノー・ボール

残雪の北アルプスをキャンバスに

草花芽吹く安曇野の春 秀夫

鯉のぼり五月の気圏清々と

眼下に稚児の手まねき見る 吉清

束の間にひと年過ぎて咲くアジサイ

親しき者ら我に還らず 吉清

古代から命つなげし酸実(ズミ)の実を

育てて三年新たな芽吹き わらしべ

あとがき

ロシアのウクライナへの軍事侵攻が続き世界が怒りの中にあって、 平和な日本はコロナも落ち着きつつあり、緑と花に囲まれて幸せを感じる季節となりました。

今回は、新たな投稿者をお迎えして、延べ13名の方から俳句13句、短歌10首の、自然を愛でつつ平和を願い、なるほどと膝を打つような素敵な作品が寄せられ賑やかな句会・歌会となりました。俳句・短歌というと何となく堅苦しく思われる方が多いようですが、じつは、作句・作歌の向上を目指しつつ、頭を使うことで老化防止にもなるのです。

自然の森を愛する同胞の皆さんでまだ参加されていない方はここで 思い切って俳句・短歌の世界へ一歩踏みだしませんか。きっと新たな 世界が開かれることでしょう。

次回は夏季(6月~8月)になりますが、思い立ったが吉日、事務 所前の投稿箱の他、世話人あてのメールでも結構ですので応募して下 さい。

4月理事会

(日時) 2022 年 5 月 28 日 (土) 13:00~15:20 (出席者) 岡本、上田、中川、藤原、徳永、萩原

1. 審議検討・確認事項

- (1) 2022 年度始の報告・手続き業務の進捗状況について
 - ・ 千葉県への事業報告他(環境生活部県民生活課 NPO 法人 班)(5/6 発送⇒5/9 配達済)
 - ①2021年度事業報告、②役員の変更については、千葉県より特段の連絡はなく、問題なく受理されたものと判断している旨の報告あり。③定款の変更については、千葉県より4月23日に「縦覧及び公表の作業に進む予定」との連絡があった旨の報告あり。
 - ・ 千葉地方法務局での定款変更登記:千葉県の認証終了後に実施予定
 - NPO 活動総合保険&レクリエーション傷害保険の更改:5/27 に終了
- (2) 公園緑地課への提言および質問について
 - ・ 提言の修正案を近日中に作成し、関係者に連係する。
- (3) T-KIDS 及び柏の葉 T-SITE とのイベントの準備状況について
 - 7/24(日)夜の昆虫観察会 ⇒ 募集6名に対して既に5名 (男子4名、女子1名)の申込みあり
 - 8/13 (土) &14 (日) こんぶくろ池の昆虫について ⇒ T-KIDS との事前打合せ準備中
- (4) コリドーアリア内における観察路設定の検討について
 - · NPOとしては、まずは無理のない範囲で貴重種等の場所を 確認するための植生調査を行う。
 - ・ 柏市側の検討状況について公園緑地課長に確認する。
- (5) 6~7月活動計画

- ・ 合同活動日(6/19)には、近隣住民等にも参加を呼び掛け、 ファミリーでの活動体験も交える形で、アメリカオニアザミ 除去およびワタワセツリフネ草地除草を行う。
- · そのために必要な器材を事前に購入する。

2. 報告事項

(1)調査

- ① こん虫展(UDCK) (展示 5/20~22、講演 5/22) ⇒ 約 250 名の来園者があり、盛況であった。
 - ・ 今後、昆虫標本の見学要請が来ることも予想されるが、その都度の標本出し入れは標本破損等のリスクが高いため、 当面は原則禁止とする。
 - ・ 見学ニーズが高いようであれば、特定日に展示する等の対応も今後検討する。
- ② カシニワ・フェスタ園内ガイド (5/15) ⇒ 申込者は 6 組 10 名あり

(2) 園内ガイド

- ① 十余二小学校(94名)(5/2 10:00~10:50)(上田・徳永・ 辻村・中川)
- ② 知縁の会(約17名) (5/11 10:00~13:00) (矢島)

(3) その他

- ① 森林総研によるカシナガ調査の事前協議及び機材設置立会 (4/25 10:00~12:00) (岡本・藤原・上田・中川)
- ② 秋水燃料庫の進捗状況の文化課・歴史クラブよりの報告等 (5/24 13:30~) (浦久・岡本)
 - ・ 当初は6月中の公開を予定していたが、工事遅延のため延期になる見込み。公開時期は現時点では未定。

理事会の議事録は管理棟のファイルにて確認できます。